

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成25年5月2日(2013.5.2)

【公開番号】特開2011-224045(P2011-224045A)
【公開日】平成23年11月10日(2011.11.10)
【年通号数】公開・登録公報2011-045
【出願番号】特願2010-94350(P2010-94350)
【国際特許分類】

B 2 6 B 19/28 (2006.01)

B 2 6 B 19/16 (2006.01)

【F I】

B 2 6 B 19/28 A

B 2 6 B 19/28 E

B 2 6 B 19/16

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月19日(2013.3.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

かみそりヘッド（1）の内部に、モーター（15）の回転動力を往復動力に変換して内刃（19b）に伝動する内刃駆動構造が設けられており、

内刃駆動構造は、モーター（15）で回転駆動される偏心カム（35）と、偏心カム（35）で往復駆動される摺動ピース（37）と、摺動ピース（37）を上下に挟持した状態で左右方向へ往復スライド自在に案内する摺動構造とを含み、

摺動構造とヘッドフレーム（9）との間に、摺動ピース（37）および摺動構造の構成部品間の隙間を吸収して、摺動ピース（37）のがたつきを防ぐ弾性体（38）が設けられている電気かみそり。

【請求項 2】

摺動構造が、摺動ピース（37）を上下に挟む押圧体（47）と摺動ガイド（48）とで構成してあり、

弾性体が、摺動ガイド（48）とヘッドフレーム（9）との間に配置したシート状の弾性マット（38）からなる請求項 1 に記載の電気かみそり。

【請求項 3】

弾性マット（38）と、摺動ガイド（48）と、摺動ピース（37）と、押圧体（47）とが、ヘッドフレーム（9）に対して記載順に組み付けられており、

弾性マット（38）は、シート状のマット部（58）と、マット部（58）に設けた複数のボス（60）を一体に備えており、

ヘッドフレーム（9）に設けたピン（61）にボス（60）を嵌合し、前記ボス（60）に摺動ガイド（48）を装着して、弾性マット（38）および摺動ガイド（48）がヘッドフレーム（9）と一体化されており、

摺動ピース（37）がヘッドフレーム（9）に固定した押圧体（47）で押さえ保持してある請求項 2 に記載の電気かみそり。